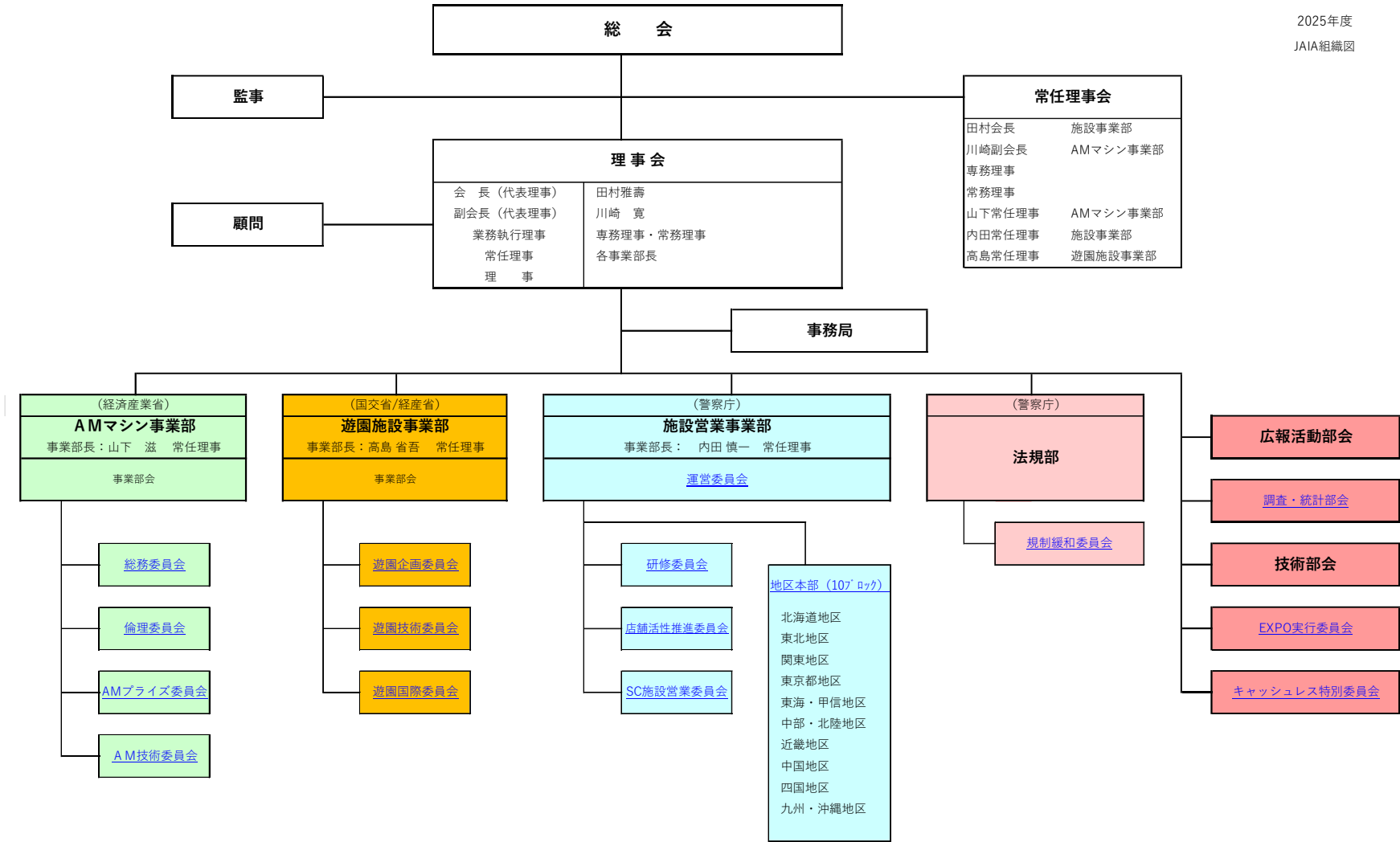


第1号議案

2024年度事業報告書及び決算報告書
及び監査報告承認の件

事業報告



凡例： AMマシン 遊園 施設 法規部 共通

《 J A I A 統一事業活動 》



- (1) キャッシュレス決済推進(キャッシュレス決済推進特別委員会)
- (2) アミューズメントエキスポ事業
- (3) 業界実態調査
- (4) 賀詞交歓会
- (5) 広報事業活動

《AMマシン事業部》



1. アミューズメント産業に関する調査研究及び業界統計の作成

(1) 景品提供営業のあり方に関する調査研究 (AMプライズ委員会)

(2) AM機の健全化及び啓蒙に関する調査研究<倫理基準の運用> (倫理委員会)

2. アミューズメント産業に関する技術の開発研究・標準化の推進

(1) 関係法令等の検討作業への協力 (AM技術委員会)

(2) J I S規格の策定事業 (AM技術委員会)

3. アミューズメント産業に関する内外関係機関との交流の促進

(1) 国内関係機関との交流

(2) 海外の業界団体との交流

(3) 海外における知的財産権保護の活動

4. アミューズメント産業に関する登録の推進

(1) アミューズメント機器の表示マーク制度 (倫理委員会－倫理審査委員会)

(2) AMプライズ表示マーク制度 (AMプライズ委員会)

《遊園施設事業部》



1. 遊園施設に関する調査研究事業
2. 遊園施設に関する情報の収集及び提供
3. 遊園施設に関する講習会、研修会等の開催
4. 遊園施設に関する内外関係機関との交流の促進
5. 遊園施設に関する登録の推進

《施設営業事業部》



2. 一般事業活動

- (1) 公益事業活動
- (2) 研修事業活動
- (3) 業界活性化事業活動
- (4) 健全化事業活動

3. 関係団体との連携活動

- (1) 警察庁及び都道府県警察
- (2) 全国防犯協会連合会
- (3) 日本ショッピングセンター協会

4. 事業部内諸活動

- (1) 全国情報交換会

《会員の異動》



会員の入会

(1)正会員

施設営業事業部 有限会社ナモン
AMマシン事業部 株式会社エルココ、株式会社ウェブライド、合同会社beyond、
exA-Arcadia PTE. LTD.、株式会社BUZZGAMES、飛天ジャパン株式会社、
株式会社アソビックス

(2)賛助会員 一般社団法人 日本ショッピングセンター協会

会員の退会

(1)正会員

施設営業事業部 プレビ株式会社、株式会社ハローズ、有限会社サンダイ、
関東スポーツセンター株式会社、株式会社プレジャーキャスト、
株式会社ドリームゲート

AMマシン事業部 株式会社トークン

(2)賛助会員 なし

	期首会員数	入会数	退会数	期末会員数
正会員	203	8	7	204
施設営業事業部	108	1	6	103
AMマシン事業部	79	7	1	85
遊園施設事業部	16	0	0	16
賛助会員	5	1	0	6

決算報告

《 2024年度決算概要 》

JAI A

収入

支出

375,359,062 343,689,505

当期經常増減額

30,620,425

税引き後 30,525,136

《 2024年度決算概要 》



セグメント別実績

2024年度	継続事業			収益事業		合計
	AMマシン事業	遊園施設事業	施設営業事業	キャッシュレス	EXPO	
収入	40,271,252	11,829,650	71,511,472	9,003,563	242,743,125	375,359,062
事業費	6,545,295	4,988,494	30,776,148	51,045,678	153,652,596	247,008,211
管理費	47,145,120	7,805,239	42,780,067	0	0	97,730,426
当期経常増減額	-13,419,163	-964,083	-2,044,743	-42,042,115	89,090,529	30,620,425

通常の決算資料では、「キャッシュレス」、「EXPO」に各事業部の経費を割り振り、課税対象の「収益事業」の収益を低くしていますが、本説明資料では、各事業単体の収益をわかりやすくするために 按分の経費をしない数字で表記してあります。

事業部全体の会費の増加と、細かな経費の見直しにより、昨年より、赤字を約1700万円ほど改善。

キャッシュレス事業も、収益化が本格的に始まり、1200万円ほど改善。

展示会事業は、展示会では10年ぶりになる51社と業界を挙げての展示会となり、おおよそ8500万円の改善

キャッシュレス事業



	2023年度	2024年度	差額
収入	2,329,489	9,003,563	6,785,619
事業費	56,219,063	51,045,678	-5,758,358
管理費	0	0	0
当期経常増減額	-53,889,574	-42,042,115	12,543,977

委託費	13,147,337
通信運搬費	7,164,754
減価償却費	28,669,394
	51,045,678

2023年度より、収益化がスタート。登録手数料230万円の他に、手数料収入が始まり、総額で911万円の収入となった。データベースは利用が52社に拡大。景品登録件数は2万件に拡大。

支出の半数は減価償却費であったが、委託費が1700万円から1314万円に削減。賃借料、通信運搬費 899万円あったものが842万円に削減。合計2600万近くのランニングコストは2150万円に削減した。

2025年度からは、キャッシュレス手数料の増加を見込んでいる。

収益依存の展示会事業が大幅に増益



展示会事業収益	AMEXPO	AMEXPO 2024実績	差額
小間料収入	130,350,000	204,886,000	74,536,000
入場料収入	16,735,500	17,737,000	1,001,500
その他収益		20,120,125	20,120,125
経常収益計	156,546,482	242,743,125	86,196,643

2024年度の展示会は、金曜日のビジネスデーを開催。出展小間数が584小間と、近年10年では実現できていなかった580小間を超えることができました。
前年と比較して、約86百万円の増収。

事業費計	AMEXPO	AMEXPO 2024実績	差額
展示会整備費	68,652,826	54,483,924	-14,168,902
主催者イベント費	46,941,224	30,690,000	-16,251,224
会場使用料	15,832,300	30,628,738	14,796,438
その他委託費	1,213,647	6,904,881	5,691,234
販管費合計（消費税など）	22,091,644	30,945,053	8,853,409
経常経費計	151,731,618	153,652,596	1,920,978
事業利益	4,814,864	89,090,529	84,275,665

経費の見直しを図り、約17百万円のコストを前年から圧縮。
結果として、前年から85百万の事業利益増となりました。

《 2023年度決算概要 》



流動資産合計

2023年度期末	2024年度期末
117,964,110	185,283,777
	当期經常増減額
	67,319,667

監查報告

第1号議案

2024年度事業報告書及び決算報告書
及び監査報告承認の件

第2号議案

役員退任に伴う役員選任

新理事候補

フリュー株式会社

西村 仁志

新理事候補

株式会社ラウンドワンジャパン

二神 達洋

第2号議案

役員退任に伴う役員選任

退任理事

フリー株式会社

三嶋 隆

退任理事

株式会社ラウンドワンジャパン

湯之前 輝寿

報告事項

2025年度事業計画案
2025年予算案

《 J A I A 統一事業活動 》



- (1) キャッシュレス決済推進(キャッシュレス決済推進特別委員会)
- (2) アミューズメントエキスポ事業
- (3) 業界実態調査
- (4) 賀詞交歓会
- (5) 広報事業活動
- (6) 規制緩和活動

《AMマシン事業部》



1. アミューズメント産業に関する調査研究

- (1) 中長期的な事業計画の策定（AMマシン事業部会－総務委員会）
- (2) 景品提供営業のあり方に関する調査研究（AMプライズ委員会）
- (3) 知的財産の確立に関する調査研究
- (4) AM機の健全化及び啓蒙に関する調査研究（AM倫理委員会）

2. アミューズメント産業に関する技術の開発研究・標準化の推進

- (1) 関係法令等の検討作業への協力（AM技術委員会）
- (2) J I S規格の策定事業（AM技術委員会）

3. アミューズメント産業に関する情報の収集及び提供

- (1) アミューズメント文化の振興＜アミューズメント産業界の情報収集提供＞
- (2) アミューズメント文化の海外への情報提供等＜海外市場の拡大に向けた取組み＞

4. アミューズメント産業に関する展示会、講習会、研修会等の開催

5. アミューズメント産業に関する内外関係機関との交流の促進

- (1) 国内関係機関との交流
- (2) 海外の業界団体との交流
- (3) 海外における知的財産権保護の活動

6. アミューズメント産業に関する登録の推進

- (1) アミューズメント機器の表示マーク制度（AM倫理委員会－AM倫理審査委員会）
- (2) AMプライズ表示マーク制度（AMプライズ委員会）

《遊園施設事業部》



1. 遊戯施設に関する調査研究事業（遊園企画委員会／遊園技術委員会）
2. 遊園施設に関する情報の収集及び提供（遊園企画委員会）
3. 遊園施設に関する安全対策の調査研究と安全管理講習会の開催（遊園技術委員会）
4. 遊園施設に関する内外関係機関との交流の促進
5. 遊園施設に関する登録の推進

《施設営業事業部》



2. 一般事業活動

- (1) 公益事業活動
 - ①地域懇談会 ②アミューズメント・ラヴ・エイド
- (2) 業界活性化事業活動
 - ①店舗運営能力向上に向けた企画
 - ②アミューズメント施設のPR企画
 - ③E X P Oの主催者事業 クレーン検定の開催
- (3) 研修事業活動
 - 青少年指導員養成講座
- (4) 健全化事業活動
 - ①健全営業の徹底 ②健全施設ステッカー ③こども110ばん

3. 関係団体との連携活動

- (1) 警察庁及び都道府県警察
- (2) 全国防犯協会連合会

4. 事業部内諸活動

- (1) 施設事業部会（運営委員会）
- (2) 全国情報交換会
- (3) SC施設営業委員会視察

展示会事業の継続



AMUSEMENT EXPO2024

アミューズメント エキスポ

出展のご案内

日時：2024年11月15日(金)～16日(土)
会場：東京ビッグサイト 東5・6ホール
対象：11月15日(金) ビジネス / 16日(土) 一般
主催：一般社団法人日本アミューズメント産業協会
出展申込締切：7月10日(水)

2025年度は
金曜日のビジネスデー、土曜日のユーザーデーを開催。
出展小間数は前年以上を目標に募集を開始しております。

今回の課題

11月14日(金) 商業施設事業者などの業界外事業者の誘致
就活生の業界展示会招待
金曜日のみ出展枠継続

11月15日(土) エンドユーザーの参加人数拡大
6000人→8,000人

都内近郊のアミューズメント施設にもご協力をいただき、ゲーム
センターユーザーの拡大を目指して、本年も開催します。

キャッシュレス事業



収入の拡大

JAIAの公認端末などからの収益が昨年末に本格化。

昨年の計画 700万円を越え、登録料、手数料の合計で 年間で900万円を越える。

端末の増加は進んでおり、今年度は1100万円の収益予算を見込む。

経費の改善

委託費の圧縮を実施。当面は大きな圧縮は見込めないが、内製化できる作業は随時 切替を検討していく。

データベース利用の拡大

「景品」の登録事業が進んでおります。プライズフェアの景品カタログへの、「JAIAコード」の掲載。

景品へのコードの掲載などが進んでおり、本格的な活用が今夏より始まります。

データの拡充が進むので、今度はオペレーターのみなさまの活用拡大が業界のDX化につながります。

端末の説明会、データベースの説明会なども予定しておりますので ぜひ積極的なご活用をお願いしたいと思います。

キャッシュレス事業



事業推移の予測

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
収入	2,329,489	9,003,563	13,620,000	15,660,000	18,036,000	20,412,000
事業費	56,219,063	51,045,678	50,460,705	50,460,705	40,802,823	21,802,823
当期経常増減額	-53,889,574	-42,042,115	-36,840,705	-34,800,705	-22,766,823	-1,390,823

市場端末台数 A	26,000	37,000	44,000	49,000	55,000	61,000
市場端末台数 B			20,000	25,000	30,000	35,000

経費全般の見直し



- 各事業部の事業活動は例年通り
 - 大きな経費の発生予定はなし。細かな経費の見直しを進めます。
- 交通費の支払いルールの一掃
 - インボイス対応含め、交通費の取り扱いの検討を理事会に諮っていきます。
- オフィスコスト削減案の検討
 - 今年度内でオフィスコストの圧縮の検討を進める。

《 2025年度予算概要 》

JALIA

収入

支出

349,087,000 358,293,219

当期經常増減額

△ 9,206,219

《 2025年度予算概要 》



セグメント別予算

2025年度	継続事業			収益事業			合計
	AMマシン事業	遊園施設事業	施設営業事業	共通事業	キャッシュレス	EXPO	
収入	36,874,000	11,960,000	64,385,000	4,800,000	11,068,000	220,000,000	349,087,000
事業費	143,000	4,258,920	19,339,500	4,185,500	51,487,882	145,000,000	224,414,802
管理費	54,711,286	17,157,495	52,529,636	9,480,000	0	0	573,501,802
当期経常増減額	-17,980,286	-9,456,415	-7,484,136	-8,865,500	-40,419,882	75,000,000	-9,206,219

2025年度の 赤字額

△ 9,206,219

うち、原価償却費用

28,657,882

現金残高は増加

+19,451,663

2024年度の 流動資産期末残高

185,283,777

2025年度の 流動資産期末残高見込

204,735,440